

NEWSLETTER FROM ASAHI TOWN TO THE WORLD



# りんご園便り

せいの  
山形県あさひまちの清野りんご園から全国のみなさまへ、  
年に数回お届けする私たちのニュースレター

第31号



ASAHI-MACHI TODAY 1 「歩いて感じたこと、身についたこと」

ASAHI-MACHI TODAY 2 家族旅行と自分研きのミッション

TOPICS 1 ユニセフ&社会貢献活動レポート

TOPICS 2 雪とりんごのおいしい関係

TOPICS 3 フォトコンテストの結果発表

TOPICS 4 田舎のイベントあれこれ

ASAHI-MACHI LIFESTYLE りんご農家の1日(りんごの樹の大手術編)

OUR IMPROVEMENT 「お客さまの声を耳にして、こう改善しました」

SPRING  
2016



## 「歩いて感じたこと、身についたこと」



こんにちは、千春です！

長男洵は中学2年生、長女由奈は6年生に進級しました。

中学校は自転車通学ですが、冬は3.6kmの道のりを徒歩で通っています。どんなに雪が降ろうと1回も車で送ってもらわなく登校しました。その様子を書いた作文が「学校だより」に載ったので紹介します。

僕は、この冬期間、沼向から歩いて登校しています。最初はきつくて歩いて登校するのがとても嫌でした。しかし、歩いて登校するからこそ感じることや、身につくことがあるということに気づきました。

感じたことの一つ目は、朝日町の自然の美しさです。自転車や自動車では絶対に見ることができない小さな自然も目にすることができます。雄大な大朝日岳や轟轟と流れる最上川は朝日町を代表する自然です。でも、歩いていると、雪の間から見える草の緑や、雪が降り積もる様子も美しい自然の一部だと感じられるようになりました。

二つ目は、地域の方々の暖かさです。登校する時には「いってらっしゃ

い」、そして下校した時は「おかえり」と、まるで家族のように声をかけてくださいます。地域の方々が声をかけてくださるおかげで、定期考査の日のいつもより長く感じる通学路も、また、失敗してしまい重い足取りの日も、歩くのを楽しくしてくれました。

さらに、身についたことは、なんといっても体力です。家から学校まで結構遠いことに加え、坂道が多いので、自転車通学時よりもきつく感じます。最初の頃は遠いし、寒いし、足が濡れると嫌なことばかりだったのですが、最近では、毎日歩くことで体力が付き、それがサッカーにも生きてくと、プラスに考えられるようにもなりました。歩いて学校に通学するのは大変だけれど、その分、新しい発見や成長もあるのでこれからもがんばりたいと思います。



## 家族旅行と自分研きのミッション

こんにちは、ジョンパルです！

春休みに僕の故郷を3年ぶりに訪れました。変わらない母や兄弟の愛を感じる素敵な時間でした。子供達もハルモニ(おばあちゃん)の手料理をいっぱい食べました。辛いものが多いのでちょっと大変でしたが……(笑)。

従兄弟と日韓バドミントン大会をし、ハルモニ杯マラソン大会も開きました(笑)。最後の日はソウルにある古宮博物館や世界遺産でもある朝鮮王朝の宮殿と秘園も見学しました。演劇も観て家族で爆笑！言葉のいらぬ素晴らしい劇を世界の人達と楽しみました。

僕には特別ミッションがありました。「カッコいい父ちゃんの姿を見せたい」と、母校の小学校での講演を計画し、OKをもらいました。



「日本の生活文化」を後輩たちに話しました。質問もあり汗もかきましたが、達成感の大きい機会でした。韓国も少子化で全校生徒40人の小さい小学校ですが、後輩たちのキラキラした目は素晴らしかったです。家族もゲストとして招待され、娘の由奈はゆかたを披露しました。先輩ということだけでOKをしてくださった学校側に感謝いたします。どうだ！父ちゃんの流暢な韓国語すごかったら？！(笑)



## TOPICS 1 ユニセフ&社会貢献活動レポート

私たちは、ふじりんごの「販売箱数」に連動する形で、ユニセフに募金し続けています。

りんご農家として、少しでも世界の子供たちの飢餓やワクチンに貢献できれば、これほど嬉しいことはありません。

2008年～2015年 **872,350**円

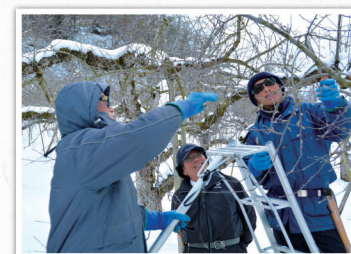
2016年 **105,300**円

### ●「森の休日2016」サポーター募集

私たちがサポートしている活動に「森の休日」があります。震災と原発事故から5年たった今でも、放射線の不安を抱え生活されている方がたくさんいます。福島の子供たちとその家族のストレスを少しでも解消し、リフレッシュしていただきたい、という目的で活動を行っています。このプログラムを実施するには、サポートスタッフの力が必要です！一番大切な仕事は、子供たちと遊ぶこと！これには、学生ボランティアが大活躍( ^o^ ) / 他には、お父さん、お母さんの話し相手や、食事作り、体験活動の提供などです。お父さんとの参加も歓迎です。詳しくは、「葉っぱ塾 森の休日」で検索。また、私たちにお気軽にお問い合わせください( ^o^ )

## TOPICS 2 雪とりんごの美味しい関係

部落の常会で、「ごだな冬は珍しいな」とベテラン農家のおじいさん。「んだね～30年ぶりだね」その年も正月に下駄で歩いたよ」と、先輩方の話は続きます。朝日町在住14



年の僕も実感するほどの、いつもと違う雪のない暖かい冬でした。いつもの年は11月中旬の初雪から雪の季節が始まり、1月には100cm以上の雪が積もり、りんごの樹はゆっくりと休みに入ります。今年は、山の熊も、りんご農家のおじいさんも、りんごの樹も、みな冬眠できず、かなりの寝不足気味！朝日町のりんご農家は「晴耕雨読」ならぬ「晴耕雪読」で、晴れの日には剪定作業、雪の日には本を読むのが長年のトレンドです。今年のリんごが暖冬・少雪でどのような影響が出る



るか心配です。いつものように春・夏・秋・冬が訪れ、それぞれの役目を果たしてくれるといいなと願いつつ、あらゆる変化にも対応できる頭と心を培いたいものです。

## TOPICS 3 フォトコンテストの結果発表

昨年のフォトコンテストに多数の応募ありがとうございました。独断と偏見で選び、お約束のりんごをお送りいたしました。来シーズンの参加も楽しみにしています。秋にりんご園を訪れてくださった皆様の素敵な笑顔を紹介いたします。私たちはたくさんの方との交流を大切に思っていますので、みなさまの来園お待ちしております。



新潟からの野口さんご夫妻



埼玉からの平沼さんご家族



酒田の東北公益文化大学学生さん



東京からの大学生収穫応援隊

## TOPICS 4 田舎のイベントあれこれ



### コンサート「sound For Life And Peace」

開催日 6月4日(土) 会場 磐河江市ハートフルセンター  
うた+バラグアイのハーブ+アンデスのケーナで奏でる、風のような物語。

### 空気まつり

開催日 6月4日(土)・5日(日)  
私たちにとって欠くことのできない空気。その空気に感謝するまつり。



### カヌー探訪

開催日 7月30日(土)・31日(日)  
速さを競うのではなく、爽快さを追い求め、最上川をカヌーでゆっくり下る。

### あさひまちミートマラソン2016 ダチョウの巻

開催日 5月21日(土)  
10kmのヒールクライム大会で、日本一おいしい空気を味わえる特典付き。

### ツール・ド・さくらんぼ2016

開催日 6月11日(土) サイクリングのロングライド大会で寒河江西村山地域の自然をステージに開催。





# りんご農家の1日(りんごの樹の大手術編)

ASAHI-MACHI LIFESTYLE

ウグイスのさえずりを聞きながら農作業が進みます。春は解放感にあふれ、何もかもが生き活きとしています。そんな中、今日の作業はりんごの樹の大手術?!です。農家の目的としては短期間に品種更新をすることにあります。たとえば、新品種の導入やこれからの経営の見直しなどです。「安心して下さい!」手術後のりんごの樹は元気です。



手術前のりんごの樹  
早生のファーストレディ  
という品種

手術後のりんごの樹  
すべての枝で20個接ぎ、約30分の大手術の終了、シナノゴールドに品種更新。回復すると穂木から芽が出て、伸びた枝からはシナノゴールドの黄色のりんごが生ります。



## まずは執刀ツール

ベルト、はさみ、のこぎり、ナイフ、パスボンド、テープ、FMラジオ



## 3 カット

ナイフで穂木の両面の形成層(血管)を出す



## 6 固定

伸縮性のある接ぎ木用テープで、カット部と切れ目部をすべて覆い乾燥を防ぐ



## 1 穂木を準備

接ぐための品種を乾かないようにきれいな水を入れたバケツに用意



## 4 割く

台木「元の樹」の枝に2cm位の切れ目を入れる



## 7 乾燥防止

穂木の先端部のキズを菌や乾燥から守るためパスボンドで塗る



## 2 切断

穂木の芽を3個くらい残し、はさみで約10cm位に切る



## 5 合わせる

穂木と台木の形成層を正確に合わせる、ここで形成層が合わないと言養分の流れが止まり接ぎ木の失敗になる



## 8 終了

大丈夫?痛くなかった?これで終了、回復を待つ

## 「お客様の声を耳にして、こう改善しました」

OUR IMPROVEMENT

### 【お客様の声】

モールドパックに変更してから10Kg箱には上段と下段の間の緩衝剤が無くなりましたが、もらう側からすると宅配中の押しキズが心配なので入れてもらえますか?

### 清野りんご園の改善策

ご意見ありがとうございます。農家として環境にやさしいプラスチックフリーを目指しつつ、りんごを安全に届けることを最大の目的に、ご意見の電話をいただいた日から緩衝材を入れる改善をしました。

### 【お客さまからの声】

首都圏の大学生ですが、農業経験のない人でも農作業応援隊になれますか?

### 清野りんご園の改善策

はい、なれます。清野りんご園では秋に収穫の手伝いをしていただける方を農作業応援隊として募集しています。基本は土、日の参加で、長い人では5日間もいました。農家に泊まりながらの収穫作業です。時期は11月10日から11月30日までで、その間の衣食住は私たちが提供しますが、農園集合農園解散です。労働報酬はなく、自分で収穫したりんごを2箱プレゼントします。夜は地元農家や、移住した異業種の人達との意見交換会もあります。農村生活や自分研ぎに関心のある方であればどなたでも大歓迎です。問い合わせは清野りんご園で検索、メールや電話で。

## 清野りんご園

所在地 山形県西村山郡朝日町和合2682-10  
電話・FAX 0237-85-0931  
園主携帯 090-9741-7948  
メールアドレス seinoringoen@hb.tp1.jp  
ネット販売

